

病害虫防除技術情報第4号

令和5年6月21日
三重県病害虫防除所

**水稻いもち病の感染好適日が確認されています。
早期発見・早期防除に努めましょう！**

1 対象作物：水稻

2 対象病害虫名：いもち病

3 生育と気象状況

(1)いもち病発生予測支援システム(ブラスタム)によると、6月12～13日に県内の広い範囲で感染好適日となったため、6月下旬には各地で葉いもちが発生すると予想されます(図1)。

(2)置き苗の葉いもちの発生圃場率は、巡回調査圃場(6月第1～2週)で2.4%(平年0.5%)と高くなっています。

(3)1か月予報(6月15日・名古屋地方気象台発表)によると、期間中は曇りや雨の日が多く、気温は高い予想です。

令和5年	桑名	四日市	亀山	上野	津	小俣	粥見	鳥羽	南伊勢	紀伊長島	尾鷲	熊野新鹿	新宮
5/29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5/30	-	◎	-	-	●	◎	◎	◎	◎	-	●	-	-
5/31	-	-	-	-	●	●	◎	◎	◎	●	△	-	-
6/01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	●	-	-
6/02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/07	△	●	●	◎	-	●	◎	-	-	△	△	●	-
6/08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/09	-	-	-	-	-	-	◎	-	-	△	-	-	-
6/10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/11	●	●	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/12	●	●	●	-	●	●	●	●	-	●	●	●	●
6/13	●	●	●	-	●	●	●	●	●	●	△	△	-
6/14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-
6/16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-
6/17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-

●：葉面の湿潤時間中の平均気温が15～25℃であり、湿潤時間が十分で、当日を含めてその日以前5日間の日平均気温の平均値が20～25℃の範囲

△：湿潤時間は10時間以上であるが、前5日間の平均気温が20℃未満

▲：湿潤時間は10時間以上であるが、前5日間の平均気温が25℃以上。

○：湿潤時間は10時間以上であるが、湿潤期間中の平均気温が15～20℃の範囲外

◎：湿潤時間が、湿潤時間中の平均気温ごとに必要な時間数より短い。

-：上記のいずれにも該当しない場合

図1 ブラスタムによるいもち病感染好適日の予測結果

4 防除対策

- (1)補植用の置き苗は発生源となりますので、速やかに取り除いてください。
- (2)圃場を見回り、早期発見、早期防除に努めましょう。
- (3)感染好適条件が現れてから 7～10 日後に初発生時期となるため、この時期の防除が有効です。
- (4)飼料用水稲や業務用米などの普通期水稻は、これから最も葉色が濃くなり、発病しやすい時期となるので注意しましょう。
- (5)QoI 剤(ストロビルリン系殺菌剤)の使用は最大年 1 回とし、耐性菌の発生を未然に防ぎましょう。
- (6)QoI 剤を使用したにもかかわらず、ずり込み症状などの病徴があれば、病害虫防除所、農業研究所、農業改良普及センター等へ速やかにご連絡ください。
- (7)近年、抵抗性品種であっても発病が認められる事例が増えているため、必ず見回りをしましょう。
- (8)薬剤は三重県農薬情報システムで検索することができます。

<https://www.nouyaku-sys.com/nyaku/user/top/mie>

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。